

イノベーション・デザイン コース

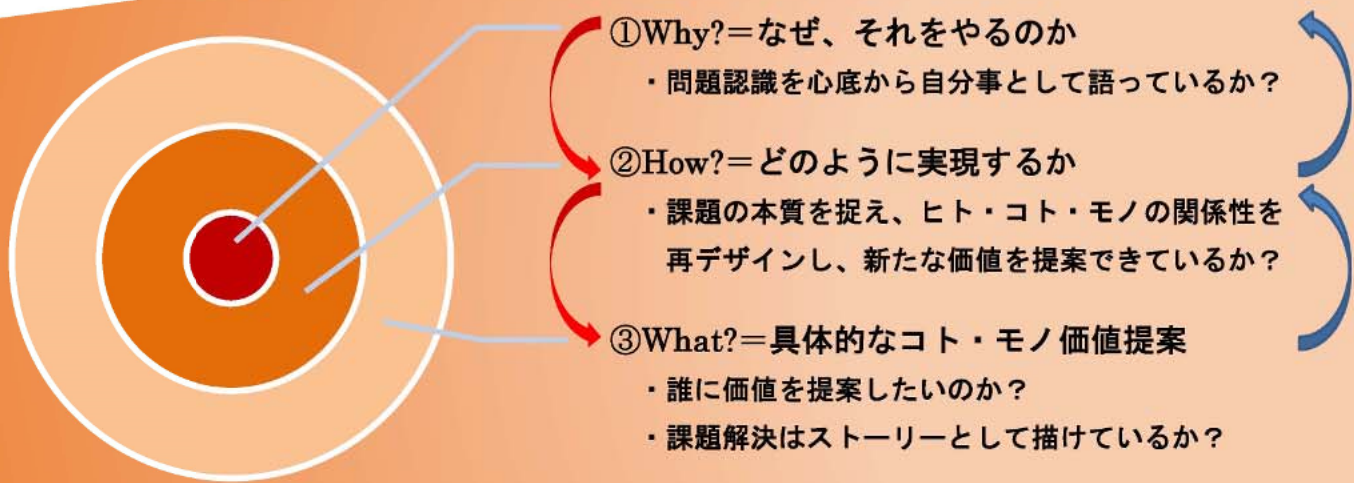
2020

Business Design for Social Innovation

企業で社会を変革するイノベーション・デザインリーダーの養成

～大きな社会課題に継続的に取り組むため、チームで事業を構想する～

「善い目的」を事業構想へ！ ～ Problem Based Learning ～



~~~~~ 実施概要 ~~~~~

体験会
説明会

2020年1月24日(金) 10:00 ~ 17:00

- * イノベーション発想法ワークショップ (コースの一部を体験) & 説明会
- * 事前申込制 (定員30名、1社3名まで)、参加無料 (お申込先: academy_info@jpc-net.jp)
申込先メール宛に、参加希望者全員の氏名及び体験会参加希望とご記入ください

実施期間

第9期 イノベーション・デザイン コース: 2020年4月17日(金)~6月27日(土)

日程・時間

金・土開講 9:30~17:00 (合宿2回、延べ15日間)

対象者

中堅・若手リーダー (募集人数: 30名)

会場

経営アカデミー: 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階
裏面案内図参照 (JR東京駅丸の内北口より徒歩3分)

申込〆切日

2020年4月10日(金) *事前課題がありますので早目のお申し込みをお勧めします



公益財団法人 日本生産性本部

Webサイト: <https://k-academy.jp/>

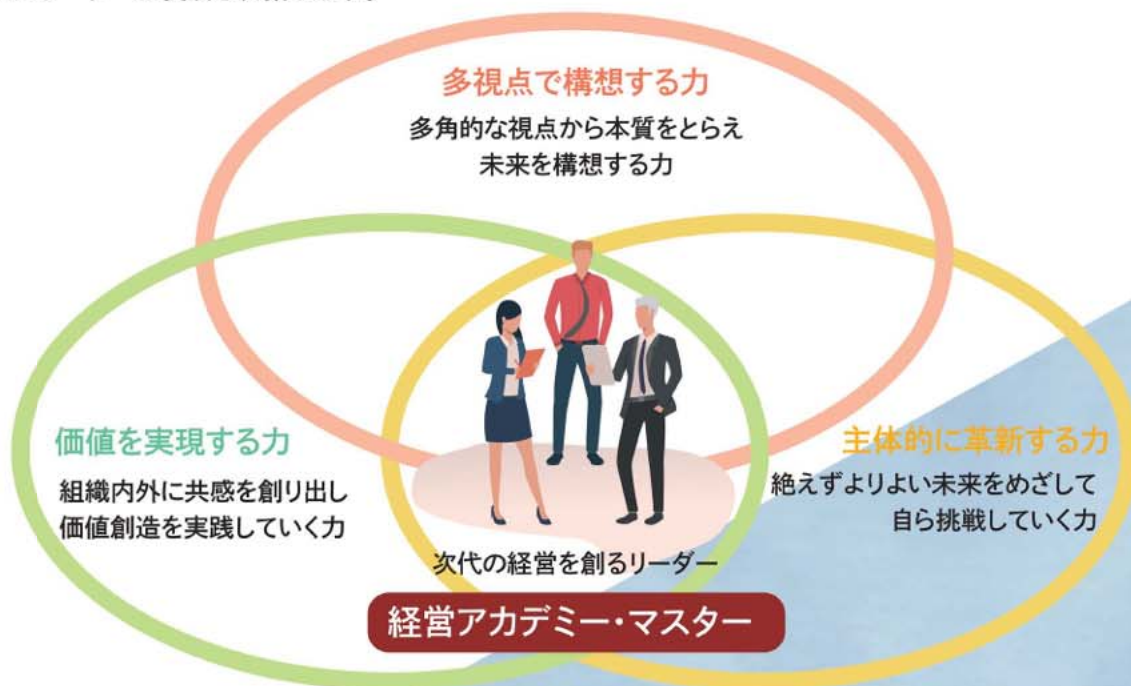
時代の変化を捉え、意識を変え、行動を変える学びの場

経営アカデミーは、公益財団法人日本生産性本部の10周年記念事業として、1965年に創設された我が国初の本格的なビジネススクールの1つです。その時々で時代の変化を捉え、意識を変え、行動を変える学びの場として、これまで15,000名を超える方々に受講いただきました。修了者には経営アカデミー・マスターの称号が与えられ、産業界のリーダーとして多方面で活躍されています。

※修了者には、『経営アカデミー・マスター』の資格が付与されます。(全日本能率連盟登録資格称号第14号)

経営アカデミーが目指す経営人材とは

今日、企業には、大きく二つの挑戦が突きつけられています。SDGsや様々な社会問題が、企業経営において中心的なテーマとなっています。また、デジタル化の大きな流れは、企業の垣根を越えて飛躍的に生産性を高める機会とみなされています。経営アカデミーは、このような大きな時代の変化の中で、自ら課題を設定し、仮説を立て、多様なステークホルダーを巻き込みながら、主体的に価値を創造していく行動力あるビジネスリーダーの養成を目指します。



「多視点で構想する力」「価値を実現する力」「主体的に革新する力」

この3つの力を兼ね備え、次代の経営を創っていくことのできるリーダーです。

コースのねらい

1. 社会問題への関心を持ち、解決できる形に課題化する力をつけます
2. 課題解決に関わるバイアスを特定し、アイデアをゼロベースで創造するスキルを身につけます
3. ライフスタイル及び企業経営に影響するテクノロジーを事業に活かす発想力を養います
4. 社会的影響力のある事業規模を想定し、各ステークホルダーにとっての魅力（フック）と収益化を構想する力をつけます
5. 自分事として事業に取り組むマインドを育みます

自ら変革する 強い想いを育てる



社会を変革する「善い目的」を持つ

本質を捉える 課題俯瞰力を鍛える



課題の本質を捉え、バイアスを特定し、再構成する

課題解決に向けた 事業構想力を養う



プロトタイプでアイデアを見える化し、課題の本質に迫る



受講生の声

- ・自分の人生をかけて、会社で何をしたいか、何ができるかを考えるようになりました。
- ・高い視座を持ち、本質直感を信じ、思考を素早く何回も繰り返すことの大切さを学んだ。
- ・バックキャスト思考の重要性、社内バイアスから脱却することの大切さに気づかされた。
- ・大義の下、高い志を持ってアイデアを構想し戦略に落とし込んでいけばイノベーションを起こせることを実感した。
- ・一人称でビジョンを明確に語り、相手の心に響かせること、そして、諦めないこと。
- ・ビジネスは社会課題の解決に通じることを学んだ。自分が変わらなければ社会も変わらないとの心構えができた。

本コースの講師陣

プログラムコーディネーター 兼 PBLチームメンター



小笠原 敦
国立大学法人滋賀医科大学
バイオメディカル・イノベーションセンター
特任教授



岸田 一隆
青山学院大学
経済学部 教授
科学コミュニケーター



東 信和
(株)アイデアポイント
取締役
チーフ イノベーション オフィサー



水谷 世希
(株)日立コンサルティング
サービス&デジタルコンサルティング本部
テクニカルディレクター

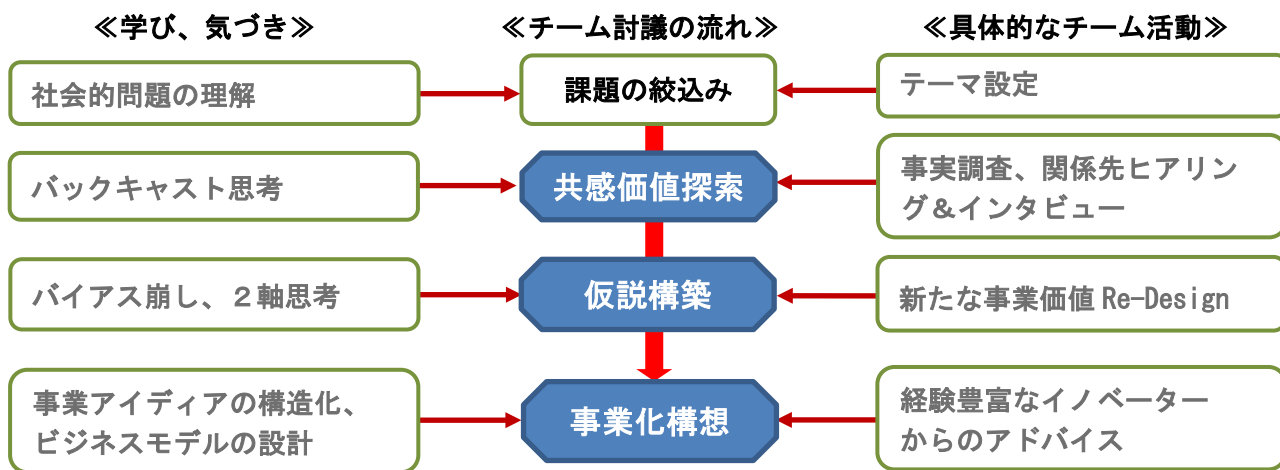


中村 善貞
富士フィルム(株)
R&D 統括本部
イノベーション アーキテクト

過去ご出講いただいた主な講師とテーマ

	ゲスト講師(所属・役職はご出講当時)	テーマ
善い目的を持つ	石田 秀輝 東北大学 名誉教授	人間活動の肥大化がもたらす大問題に警鐘を鳴らすと共に、バックキャスト思考でライフスタイルを提案
	野中郁次郎 一橋大学 名誉教授	世界の経営者が注目する知識創造理論(SECIモデル)と実践知リーダーシップの6つの原則
	岸田 一隆 青山学院大学教授、科学コミュニケーター	文明論的視座からのバックキャスト思考
	丹羽宇一郎 元駐中国大使、元伊藤忠商事会長	人類と地球の大問題
イノベーション思考法	濱口 秀司 デザイン会社 monogoto 代表	USBの開発など120を超えるイノベーションを起こしてきた実践に基づく「イノベーションの作法」
	東 信和 (株)アイデアポイント 取締役CIO	JTたばこ事業部でイノベーション推進室を立ち上げ、アイデアを次々と創出してきた実践的イノベーションの思考法
	前野 隆司 慶應義塾大学 SDM研究科 教授	現代社会が直面する諸問題をシステムとして俯瞰的に捉える幸せのメカニズム(幸せの4因子)
	石黒 浩 大阪大学大学院基礎高額研究科 教授	アンドロイドが当たり前前に社会に受け入れられ、定着していく社会は何か変わるのか、または変わらないのか
デザイン視点	水谷 世希 (株)日立コンサルティング テクニカルディレクター	想定される未来の諸問題からバックキャスト思考で課題を抽出するワークショップ
	原 研哉 日本デザインセンター 代表取締役	日常を未知化し、Re-Design する思考実験
	高橋 悠介 ISSAY MIYAKE MEN デザイナー	衣服の未来を考える
	村田 智明 (株)ハーズ実験デザイン研究所 代表	ソーシャル・デザイン、行為のデザイン、バグ取り
事業化と組織課題	小笠原 敦 国立大学法人滋賀医科大学 特任教授	バリューチェーンに見る収益構造の変化は何を意味するか。サービスイノベーションの豊富な事例を通じた問題提起
	岩田 徹 (株)アイデアポイント 代表取締役	イノベーション・アイデアの事業化プロセス
	三宅 孝之 (株)ドリームインキュベータ 取締役	ビジネス・プロデュースの5ステップ、如何にして連携するか、フック(事業の魅力)と回収エンジン
	長沼 博之 (社)ソーシャル・デザイン 代表理事	取引コストが限りなく逓減していく時代のビジネスモデル
	井上 達彦 早稲田大学商学学術院 教授	ビジネスエコシステムからビジネスモデルへの道筋を考える
イノベーション実践事例	川添 高志 ケアプロ(株) 代表取締役	医療行為の規制に立ち向かい、日本の医療費削減にも貢献する医療イノベーションの実践としてのワンコイン健診
	浅倉 眞司 GE Global Research 日本代表	[今世界が何を必要としているか]×[他のより良い方法があると確信する信念]+[本当に必要である物を発明し、作る揺ぎない執念]=世界が良くなる
	出雲 充 (株)ユーグレナ 代表取締役社長	ダボス会議で「ヤング・グローバル・リーダー」の一人に選ばれた出雲氏による、ミドリムシの事業化ストーリー
	山崎 大祐 (株)マザーハウス 取締役副社長	バンラディッシュから世界に向けてブランド発信しているマザーハウスの企業経営の考え方
	山崎 敦義 (株)TBM 代表取締役社長	水を使わない石灰石素材LIMEXの事業化ストーリー
	田中 秀樹 (株)エルブズ 代表取締役社長	社会課題にAIと地域通貨で取り組む
	山田眞次郎 (株)プランテックス 取締役会長	画期的な植物プラントで食糧問題に挑戦する

プログラム概要



日程概要

2020年4月17日(金)～6月27日(土)

★下記は予定です。テーマの詳細は変更になる場合がございます。 *日程表中、WSはワークショップ

No.	月 日	9:30	12:30	13:30	17:00	
①	2020年 4月17日 (金)	10:00 ~ 12:00 オリエンテーション	12:45 ~ 13:30 I 善い目的を持つ I-1「超長期時間軸で社会変化 を考える」	5:30 ~ I-2「バックキャスト思考」	17:10 ~ 20:00 開講式 / 交流会	
②	4月18日 (土)	9:30 ~ 12:30 II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする II-1「イノベーション発想法(講義) / ワークショップ」	13:30 ~			
③	第1回合宿 4月25日 (土)	10:30 ~ 12:00 I 善い目的を持つ I-3「チームの課題設定ワークショップ」	13:00 ~ 19:00 テーマ研究①「テーマ設定討議」		19:00 ~ 交流会	
④	4月26日 (日)	9:00 ~ 12:00 テーマ研究②「テーマ設定討議」	13:00 ~ 16:00 テーマ研究③「テーマ発表」&ヒアリング先検討			
⑤	5月8日 (金)	9:30 ~ 12:30 II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする	13:30 ~ 17:00 テーマ研究④			
⑥	5月9日 (土)	9:30 ~ 12:30 III アイディアの具体化、事業化に向けて	13:30 ~ 17:00 テーマ研究⑤			
⑦	5月15日 (金)	9:30 ~ 12:30 II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする	13:30 ~ 17:00 テーマ研究⑥			
⑧	5月16日 (土)	9:30 ~ 12:30 II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする	13:30 ~ 17:00 テーマ研究⑦			
⑨	5月22日 (金)	10:30 集合 II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする バイアスの特定と再構造化「テーマ深堀」(WS) / テーマ研究⑧	18:30 ~ 19:00 交流会			
⑩	5月23日 (土)	9:00 ~ 12:00 テーマ研究「中間発表に向けて」 コーディネーター	13:00 ~ 16:00 テーマ研究⑨「テーマ研究中間発表」			
⑪	6月5日 (金)	9:30 ~ 12:00 III アイディアの具体化、事業化に向けて	13:00 ~ 15:30 III 新規事業創造事例	15:30 ~ 17:00 テーマ研究⑩		
⑫	6月6日 (土)	9:30 ~ 12:30 II ヒト・コト・モノの関係性を Re-Designする	13:30 ~ 17:00 ワークショップ / テーマ研究⑪			
⑬	6月20日 (土)	9:30 ~ 12:30 III アイディアの具体化、事業化に向けて	13:30 ~ 17:00 テーマ研究⑫			
⑭	6月26日 (金)	9:30 ~ 12:30 テーマ研究⑬	13:30 ~ 17:00 テーマ研究⑭			
⑮	6月27日 (土)	テーマ研究⑮「プレゼン準備」	13:00 ~ 17:00 「テーマ研究成果発表会」	17:00 ~ 18:00 修了式	18:00 ~ 19:30 交流会	

問題発見から始まる学びの場 Problem Based Learning(PBL)

本コースでは、5～6名でチームを編成し、近未来に深刻になると予想される社会問題を真正面から取り上げます。チームメンバーで共感できるまで議論し、チームが関心を寄せる問題について課題（テーマ）を設定します。様々なデータ、事実を調べ、専門家へのヒアリングや様々なステークホルダーへのインタビュー等を通じて課題解決に向けた仮説を立てます。仮説を具体化する事業アイデアを検討していきます。

このように、問題の発見から事業アイデアで解決策を提案する **Problem Based Learning** を体験できます。

第8期（2019年度）イノベーション・デザインコース 各チームのテーマ

《テーマ研究取り組み3つのルール》

1. 超長期時間軸で社会変化を考える
2. 近未来に大きな影響を及ぼす社会問題からバックキャストして今やるべきこと、やりたいことに挑戦する
3. ライフスタイル及び企業経営に大きな影響を与えるテクノロジーを考慮する

Aチーム：「ごみ山を無くせ！太陽光ごみ処理プラットフォーム」

- ・私たちは、途上国で特に大きな問題となっているごみの山による健康被害、環境汚染に、太陽光集光技術とゴミ熔融炉技術（有機物の完全燃焼かつ超高温処理で金属精錬）で取り組みます。
- ・例えば、ナイジェリアの「オルソンごみ処理場」は、約4km²（東京ドーム90個分）の面積に、総量約350万tのごみが集積しています。ごみ処理場住居数は約1,000戸、約4,000人のスカベンジャーがごみ山から換金できるものを拾い出し、1日約100円の稼ぎで暮らしています。

Bチーム：「砂漠の土地を有効活用したタンパク質供給システム」

- ・私たちは、拡大し続ける砂漠の土地を有効活用し、タンパク質危機をチャンスに変えます。
- ・今、世界の陸地の約40%は乾燥地となっており、さらに砂漠化が進んでいます。
- ・2030年には世界の人口増加と途上国の経済成長によりタンパク質危機が訪れるといわれています。増加する需要に対し、乾燥地の拡大により、飼料となる穀物の供給が追いつかないことが主な原因です。
- ・私たちは、飼料循環生産の仕組みを導入し、乾燥に強い高タンパク穀物を栽培する事業を展開します。

Cチーム：「東京から始めるエネルギー革命」

- ・私たちは、3D太陽光発電で東京を100%再生エネルギーによるエネルギー地産地消都市に転換します。
- ・東京都の電力使用量は907億kwh/年です。太陽光パネルでこの電力を賄うには、23区の1.8倍の土地が必要になります。
- ・3D+熱太陽光で発電効率が大幅にアップします。
- ・再エネマンション、再エネオフィス、再エネインフラ発電ビジネスで、東京を再エネ地産地消にします。

Dチーム：「Sustainable-Building」（最優秀賞受賞）

- ・地球温暖化は、私たちの生活に年々悪影響を与えるようになってきました。あなたは、温室効果ガスを減らす派ですか、それとも温暖化による悪影響に備える派ですか。
- ・私たちは、温暖化による悪影響に備える暮らし方を考えました。居住の場となる中高層マンションに併設して循環棟をつくります。循環させるのは、エネルギー、水、食物（魚・肉・野菜など）です。
- ・現在、既に農業と魚の養殖を組み合わせた循環モデル、有機物を循環する技術があります。循環技術をモジュール化し、将来多様なエネルギー供給源を組み合わせることによりSustainable-Buildingを実現させます。

「Sustainable-Building」



基本プランは2棟（イメージ画像）

- ✓ 居住棟、循環棟で構成される大型複合ビル
- ✓ 循環棟でエネルギー、水、食物が循環
- ✓ 循環の生産物*で居住棟が維持可能
 - * 電気、生活水、魚、肉、野菜など
- ✓ 立地は都心部
- ✓ 地上30階建て、約120世帯の入居を想定

Eチーム：「Cool Credit 価値観を変える環境活動の見える化」

- ・私たち人類は、地球温暖化による気候変動を食い止められると思いますか？
- ・「エコアクションポイント」が環境省主導で2008年に始まりました。環境に配慮した行動でポイントを取得し、商品に交換できるというモデルです。私たちはこの価値観では、温暖化の進行は止まらなると考えました。全ての消費行動における環境負荷をスコアリングし、専用アプリで日常の行動の環境貢献が見える化します。この環境貢献を価値に変換します。

これまでの参加企業(ご参考)

アサヒグループホールディングス、池上長寿園、出光興産、SAPジャパン、NTT ドコモ、花王、カンダホールディングス、クボタ、ジーエルサイエンス、TOTO、JXTGホールディングス、高田香料、タダノ、凸版印刷、日東電工、日本たばこ産業、日本プラスト、日立製作所、日立ハイテクノロジーズ、藤倉化成、富士ソフト、富士フイルム、ブリヂストン、ヤマト運輸、ライオン、リコー

* 社名五十音順、複数名参加の企業が多数あります。

受講による意識の変化、行動変容(第8期生 受講アンケートより抜粋)

0さん ライオン	・社会課題に対して真摯に向き合うようになった。 ・イノベーションに対する考え方、大企業における新規事業への取り組みについて考える切っ掛けになった。 ・自社チームにフィードバックしている。
Hさん 日清オイリオグループ	・相手の言いたいことをこれまで以上に注意深く聴くようになった。 ・チームで進める際や後輩に頼む際は、How ではなく Why をまず説明して、How、What は自ら考えてもらうよう心掛けるようになった。 ・今していることがどのような社会課題解決につながるのか、常に考えるようになった。
Nさん 花王	・自分の考え方の特徴や方向性、大事にしていきたい部分を整理・理解することができました。 ・自らの表現方法や部下に対する指導にも変化が出てきたように思います。 ・これまでどちらかというと消極的だった自分が議論を楽しめるようになりました。 ・今後の仕事に限らず人生にも良い影響を与えるものと思います。
Mさん 日立製作所	・見えてきていない社会課題、社会変化を察知できるようアンテナを高く持ち、他分野、他地域の情報をキャッチするよう心掛ける意識が高まった。 ・社会課題に着目しすぎるとビジネスから乖離することもあると考えていたが、しっかり深堀して設計すれば大きなビジネスになるという考えに変わった。
0さん 日立製作所	・バックキャストで考えられるようになった。今まで、フォアキャスト的な発想しかなかったので「こうなるだろう」から「こうしたい」という考え方に変わってきた。
0さん 日本たばこ産業	・社内会議において、根っこの共通認識にズレが本当にないか確認するようになった。 ・SDGsを推進している企画部や各所轄部のキーマンとスムーズに議論できるようになった。 ・漠然とした将来不安に対して、全社を見渡したビジネスモデル変更のアイデアが浮かぶようになった。 ・超長期的視野でビジネスディシジョンができるようになってきた。
Hさん 日立製作所	・現在の顧客ニーズだけで物事を判断しないで、将来のあるべき未来からバックキャストし、顧客のニーズを作り出すことを意識するようになった。
Kさん 日立製作所	・日本語の情報だけでなく、英語の情報や海外の情報をより拾うようになった。 ・本気で社会課題を解決するような新しいビジネスを考えたいと思うようになった。
Sさん 花王	・自分が社会に対してできることは何か、それを実現するためには何が必要か、これまでより高い視座を持って取り組むことができるようになった。グループメンバーにも伝えていきたい。
Yさん 日立ハイテクノロジーズ	・業務においても生活においても考え方が変わったと思います。バックキャスト思考や必ず客観的なデータを準備し判断する実践をしています。 ・業務において、大きくかつ多数の発散と収束を繰り返した結果、あまり早い段階でまとめなくても何とかなる、それならもっと議論を沢山してもいいのでは、おおきなことを提案してもいいのではないかなと思えるようになった。
0さん 日立製作所	・ニュース記事を読む際、より広い視野(グローバル、技術、社会情勢)で情報を収集するようになった。自分の枠に捉われず、異分野も巻き込んで意見を取り入れながら仕事を進めるようになった。

◇お申し込み要領

〔お申込み手順〕

- お問合せ先 Web ページよりお申込みください。
<https://www.jpc-net.jp/academy/sanka.html>
- お申込書受領後、確認のお電話またはメールを差し上げます。
- 申し込み締め切り：2020年4月10日(金)
定員になり次第締め切らせていただきます。
事前課題がありますので早目の申し込みをお勧めします。

☆賛助会員については、下記までお問合せください。
会員サービスセンター 03-3511-4026

〔参加費〕

賛助会員☆	620,000円(税別)
一般	720,000円(税別)

☆上記費用に含まれるもの

- ①プログラム参加費
- ②2回の合宿費
- ③課題図書、資料費

*上記費用に含まれないもの

- ①グループでの調査活動に関わる諸費用
- ②課題図書以外の参考図書費(参加お申込み後にご案内申し上げます)

*コース開講後の取り消しは参加費全額を申し受けます。

経営アカデミー コース一覧

経営アカデミーは1965年に産業界の発意と学界の協力により創設された我が国で最初の本格的なビジネススクールの一つです。当アカデミーを修了された方は15,000名を超え、産業界のリーダーとして活躍しています。

マネジメント・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費（ ）内10%税込	
				賛助会員	一般
トップマネジメント・コース	2020年7月～12月	取締役、執行役員、事業部長、部長	戦略思考に基づいたビジョンを語り、先頭に立って実践できるトップリーダーの養成	115万円 (126.5万円)	125万円 (137.5万円)
経営戦略コース	2020年5月～2021年3月	部長、課長(全職種)	自社ビジネスのあり方を見直し、次の戦略を深く多面的に考えるリーダーの養成	106万円 (116.6万円)	116万円 (127.6万円)
技術経営コース	2020年6月～2021年3月	技術戦略、技術企画、研究所、製品開発担当(部長・課長・リーダー)	“技術”から社会的価値を創出できるリーダーの養成	106万円 (116.6万円)	116万円 (127.6万円)
組織変革とリーダーシップコース	2020年6月～2021年2月	部・課・チームの組織運営を行うリーダー	人・組織・戦略の視点で組織変革を推進できる次世代リーダーの養成	94万円 (103.4万円)	104万円 (114.4万円)

プロフェッショナル・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費（ ）内10%税込	
				賛助会員	一般
マーケティング戦略コース	2020年5月～2021年3月	マーケティング、営業部門の部長、課長、リーダー、戦略スタッフ	先見性・革新性・戦略性で成熟市場を打ち破るマーケターの育成	94万円 (103.4万円)	104万円 (114.4万円)
生産革新マネジメントコース	2020年6月～2021年2月	生産関連部門(製造、生産管理、品質、調達など)のリーダー、マネジャー	現場と経営の観点で、ありたい姿を描き、「強い工場」をつくる人材の養成	94万円 (103.4万円)	104万円 (114.4万円)
人事革新コース	2020年6月～2021年2月	人事部・人材開発部門のマネジャー、リーダー、戦略スタッフ	人材マネジメントに革新を起こし、世界で競争力のある強い組織創りをリードする戦略的人事リーダーの養成	94万円 (103.4万円)	104万円 (114.4万円)
経営財務コース	2020年6月～12月	財務、経理、IR、企画部門のマネジャー・専門スタッフ	企業価値の向上をリードする、CFO候補の養成	94万円 (103.4万円)	104万円 (114.4万円)

イノベーション・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費（ ）内10%税込	
				賛助会員	一般
事業変革イノベーションコース	2020年6月～12月	事業責任者、企画・監査部門の責任者、戦略スタッフ	事業構造変革トップや現場を巻き込みながら変革に邁進する中核リーダーの養成	122万円 (134.2万円)	132万円 (145.2万円)
イノベーション・デザインコース	2020年4月～6月	中堅・若手リーダー	企業の中で社会を変革するイノベーション・デザインリーダーの養成	62万円 (68.2万円)	72万円 (79.2万円)

[国内合宿費] 1回当たり4～7万円(経営財務コースは合宿費のほかにビジネスゲーム使用料1万円程度)

[海外調査費] トップマネジメント・コース39万円程度、人事革新コース、生産革新マネジメントコース30万円程度

※参加費に含まれないもの: 丸の内教室通学・合宿・企業見学・インタビュー等の交通費、グループ研究の図書・資料代、その他、個別的・追加的に発生する費用
※参加費、その他費用は2020年度の予定金額

お申込み・お問い合わせ先



公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階
[Tel] 03-5221-8455 [Fax] 03-5221-8479
[Mail] academy_info@jpc-net.jp [Web] https://k-academy.jp/

賛助会員制度につきましては、下記までお気軽にお問い合わせください。
[会員サービスセンター] 03-3511-4026



東京駅丸の内北口より徒歩3分、地下鉄大手町駅B2b出口よりすぐ